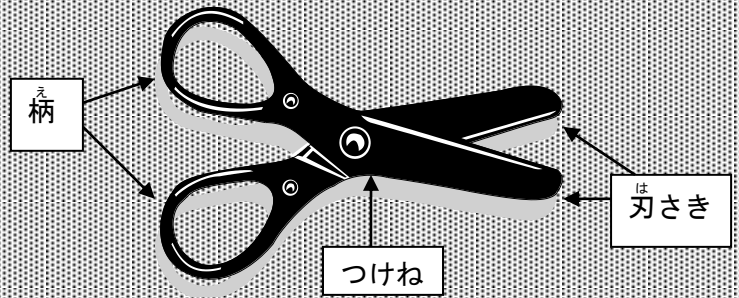


きる はさみ



☆^{はさき}刃先をひらいたままにしません。

☆^{はさき}刃先をひとにむけません。

☆はさみをもったまま、ちがう^{さぎょう}作業を
しません。

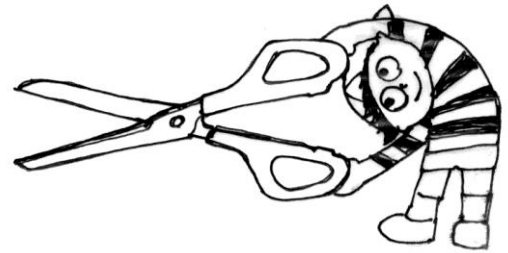
☆^{はさき}刃先を^{まえ}前に向けてもちあるいたり、
ふりまわしたりしません。

☆^{どうぐばこ}工具箱や^{ひだ}引き出しなどに、いつもしまっておきましょう。

ポケットなどにいれて、もちあるいてはいけません。

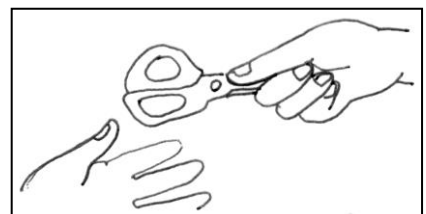
☆^{つくえ}机の上のはじなどにおかないで、^お落ちないような^{ばしょ}場所をかんがえて、
おくようにしましょう。

とても
やくだつ どうぐだよ
たいせつに つかおうね!



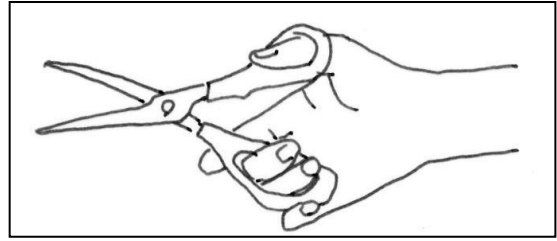
1. あんぜんにわたす・うけとる

- ・^{はさき}刃先をしっかりとじてにぎり、^{あいて}相手にわたします。
- ・うけとるときに、ひっぱったりしません。



2. 正しいもちかたとつかいかた

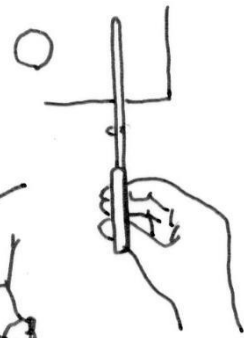
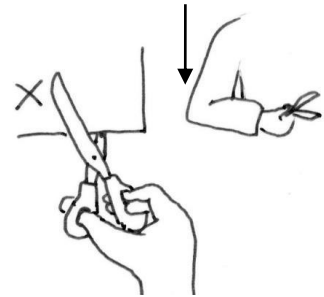
- ・小さいほうのあなにおやゆび、
大きいほうのあなに
中ゆびとくすりゆびをいれます。



人さしゆびを前まえにかけるとよいでしょう。

- ・はさみを横よこにねかせないようにして
きりましょう。
- ・きるほうこうがよく見えるように、
せすじをのばしてきりましょう。

わきがひらいています。



わきを締めましょう。

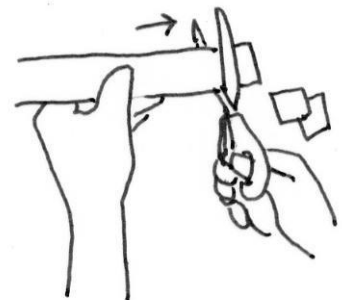
しせいをよくして
きろうね。



3. きりかたのきほん

いといとやひも・テープなど細ほそいものをきる

- ・刃の中ほどをつかってきりましょう。
- ・テープなどの少すこしはばの広ひろいものは、
テープのはばが刃の中ほどにくるくらいに
刃さきをひらいてきりましょう。



なが 長いちよくせんをきる

・ 刃の長いはさみをつかいましょう。

・ はさみを大きくひらいて、
きっていくほうこうをきめます。

(刃のつけねのところまでかみをいれる。)

(はさきすこてまえ
刃先の少し手前までとじる)

(はさきを大きくひらく)

このことをくりかえして、ゆっくりときりすすめます。

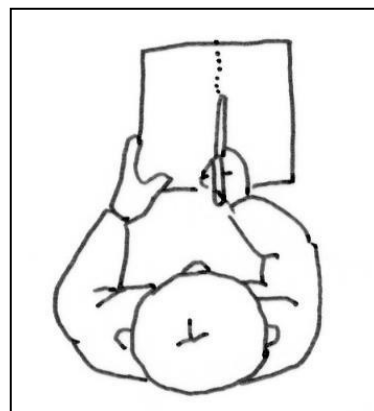
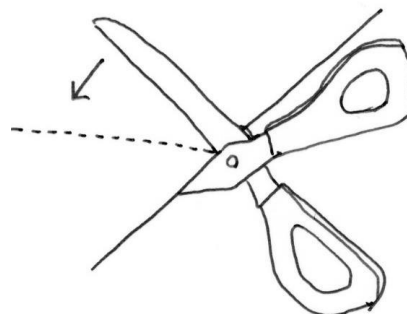
・ かいてあるちよくせんにそってきるときは、

かみ
紙をもつ手をしっかりと、

うご
動かさないようにしてきります。

せんにそっているか、

たしかめながらきります。



まがったせんやまるいかたちをきる

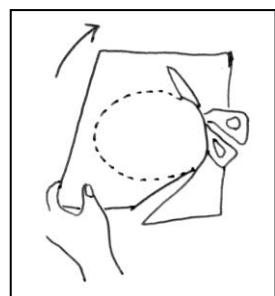
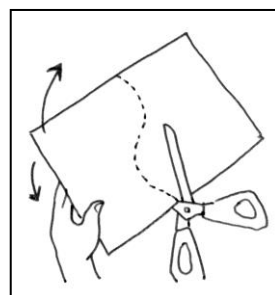
・ 刃さきを大きくひらいて、刃のつけねのほうをつかいましょう。

・ えんの大きさやまがったせんを見ながら、

はさみはまわさずに、

ゆっくりかみをまわしてきりましょう。

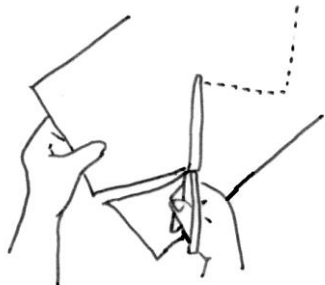
・ 大きめにきっておくと、あとでなおせます。



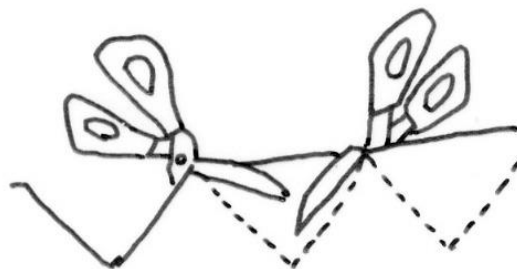
ジグザグにきる

ふたつのほうほうがあります。

〔はさみを大きくひらいてまっすぐきる〕
〔まがるところでとめて、かみのほうこうをかえる。〕
これをくりかえして、ジグザグにきっていきます。



ふたつのほうこうからきって、ぶつかったところできりおとしていきます。

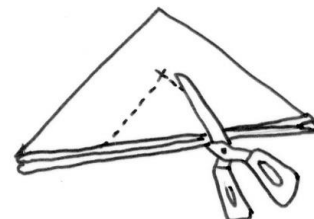


かさねてきる

二つや四つにおったり、

おりかたをくふうしてきるほうほうです。

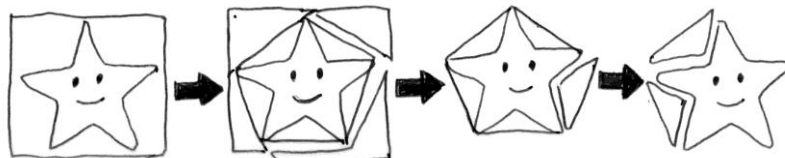
きりこみもふかくしましょう。



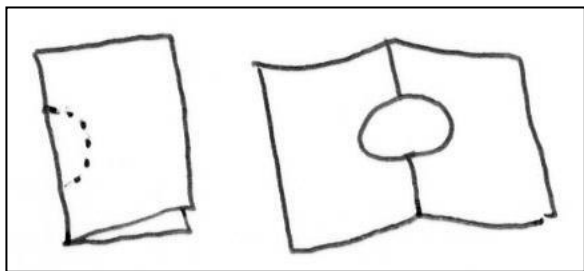
あつかみをきる

- ・きりやすいかたちにしてからきりましょう。
- ・はさみできっていくほうこうをかんがえてきりましょう。
- ・はさみを大きくひらいて、はさみのつけねのところできりましょう。

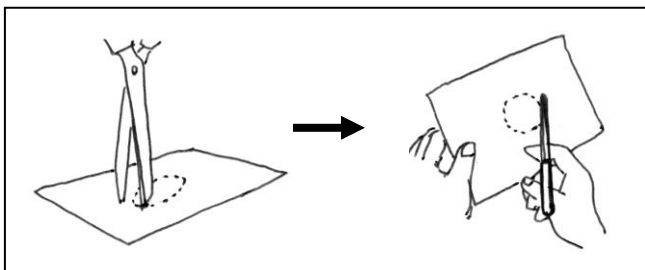
よぶんなところを
きりおとしてから
きっていきます。



まん中をきる



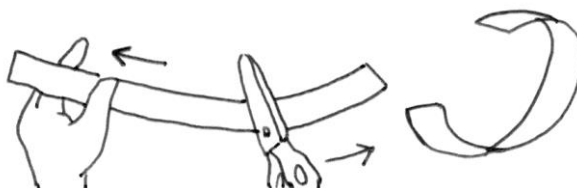
・おってきりぬく。



・まん中を刃さきであなをあけ、
そこからきりすすむ。

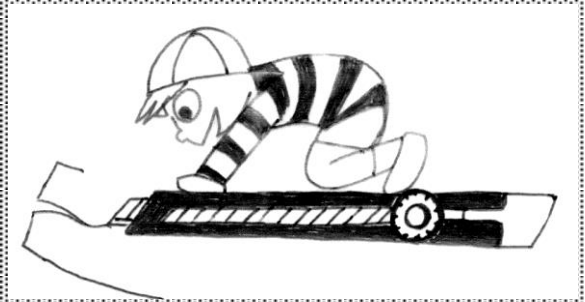
かみをカールさせる

はさみの刃をつかって、まげるくせやカールのくせをつけておくと
まげやすくなります。



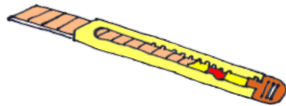
きる

カッター

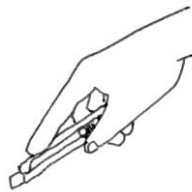


^{こがた} [小型カッター]・刃のはばが9mmあります。

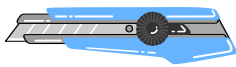
^{がようし} 画用紙や色あつがみ^{ていど}程度の紙^{かみ}につかいます。



いろいろなもちかた



^{おおがた} [大型カッター]・刃のはばが18mmあります。あつでのボール紙^{がみ}やダンボール、ベニヤ板^{いた}などにつかいます。



しっかりとぎりましょう。何回か同じ所をきって、きりはなし



☆ダンボールをきる時は、刃がのこぎりのようになっている
ダンボールカッターをつかいましょう。

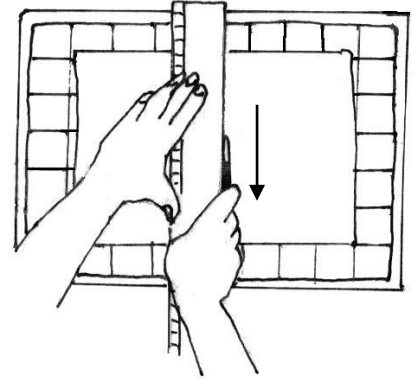
☆カッターマットをひきましょう。

☆つくえの上がちらかっていると、

不安定で危険もふえます。

きちんとつくえの上を整理してから

カッターをつかきましょう。



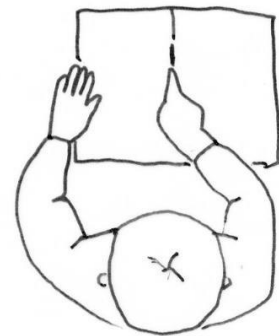
☆刃先が丸くなっていたり、おれたものは

つかいません。

☆刃先は一めもりか、二めもりぐらい、

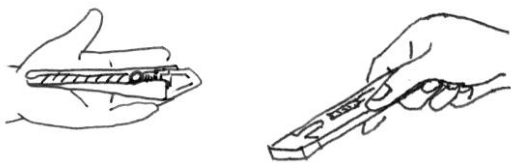
少しだけ出すようにします。

☆正しい姿勢できりましょう。



1. あんぜんなわたしかた・きりかた

カッターのわたしかた



○刃は、かならずしまいましょう。

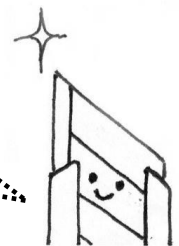
○刃先を相手にむけません、

よくきれるカッターをつかきましょう。



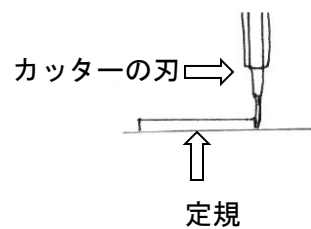
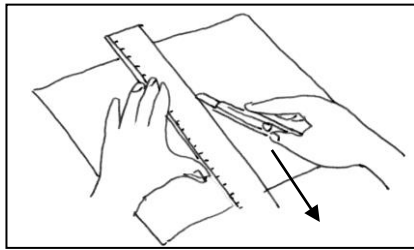
刃先がかけてしまったり、まるくなって切れ味がわるくなったりしたら、折り線のところで刃をおるか、あたらしい刃にとりかえましょう。

刃を
ながく出すと
あぶないよ！



2. 直線にきる

- ・ 定規をあててしっかり固定します。
- ・ 刃を垂直にあてて刃先を見ながらきります。
- ・ からだの正面で手前にひくように、ゆっくりきりましょう。

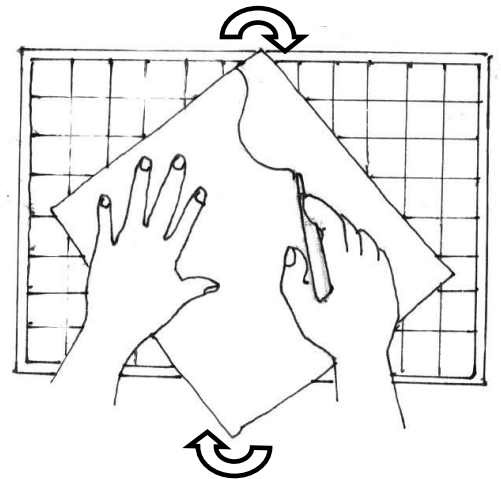


- ・ あつい紙を切るときは、一度にきろうとしないで、
2～3度同じ線をきってきりはなしましょう。

3. 曲線にきる

紙を動かしながら（回しながら）

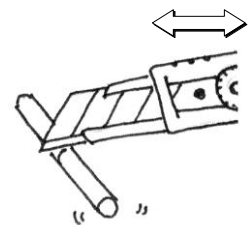
手前にひいて切りましょう。



4. 竹ひごなどのほそい木のぼうをきる

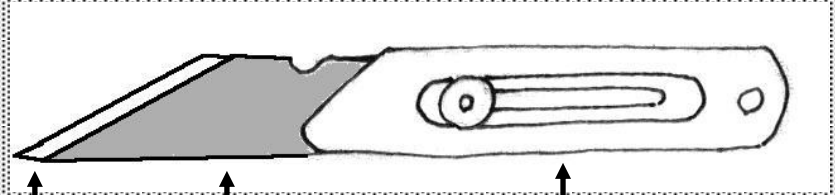
切るところにカッターの刃をあてて、

ころころと転がし、手でおってみましょう。



きる

こ が た な
小 刀



刃先

みね

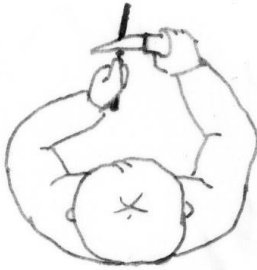
え柄

にんげん せいかつ やくだつどうぐ
人間の生活に役立つ道具だよ。

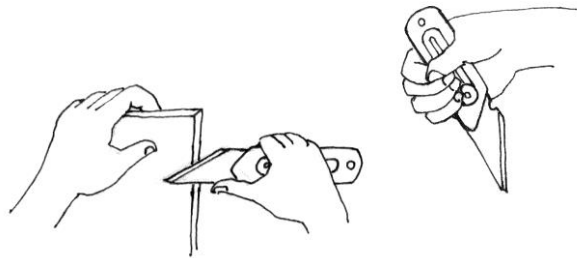
あんぜん ただ
安全に正しくつかおうね！



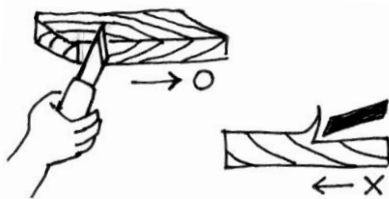
からだの^{しょうめん}正面でけずりましょう。



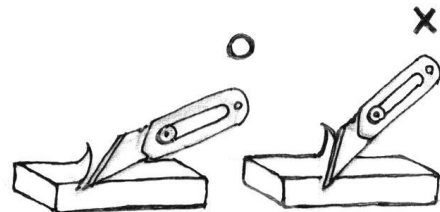
は ^{さき} 刃の先^{さき}に手をおかない。人に刃をむけない。



ざいりょう ^{ほうこう} 材料の^{ほうこう}ならい目の方向にけずる。



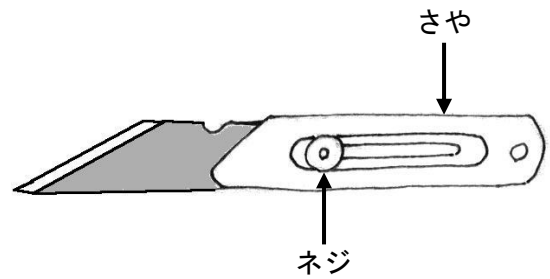
刃の^{かくど}角度を浅くして少しずつけずりましょ
う。



小刀を人にわたすときは、刃をさやにしまってから、
あいて ^え 相手に柄のほうを向けてわたしましょう。

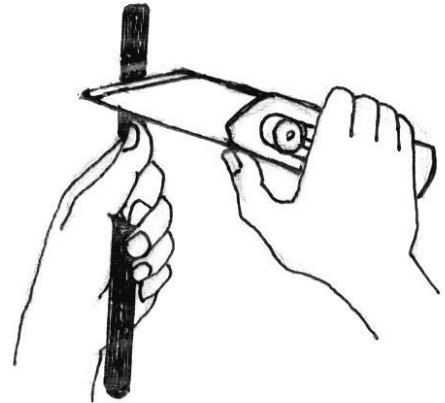
1. さやのぬきかた

さやから刃先を出したあとは、
かたくネジをしめておきましょう。



2. 両手でけずる

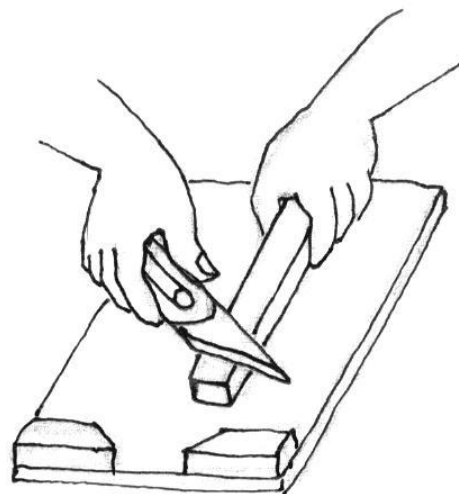
材料をもつ手の親指を、刃のみねのところにあてます。材料を引くようにしてけずります。小刀をもっている手を動かすのではなく、材料をもっている手を動かします。



3. 片手でもってけずる

工作作業台をつかって、材料をしっかりと固定しましょう。

小刀の柄をしっかりとにぎり、刃を前のほうに押し出してけずります。



きる

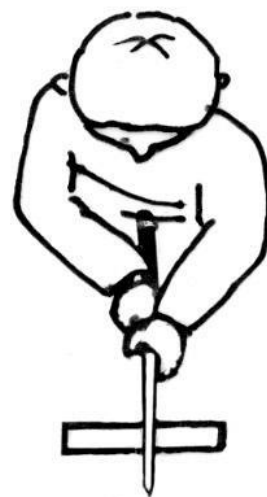
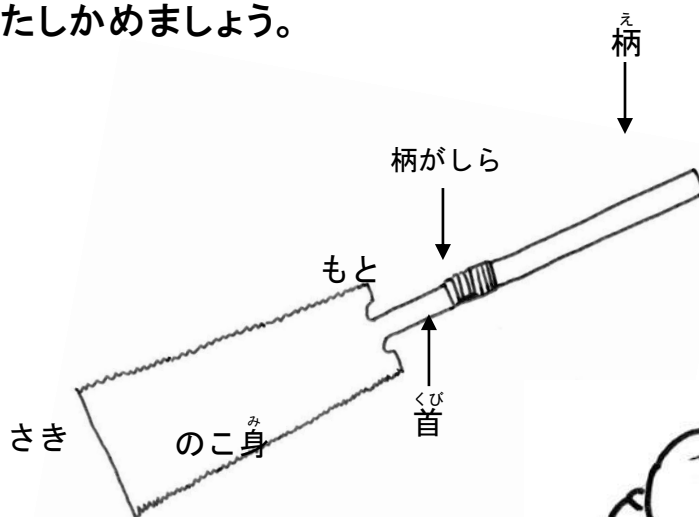
りょうば

両刃のこぎり

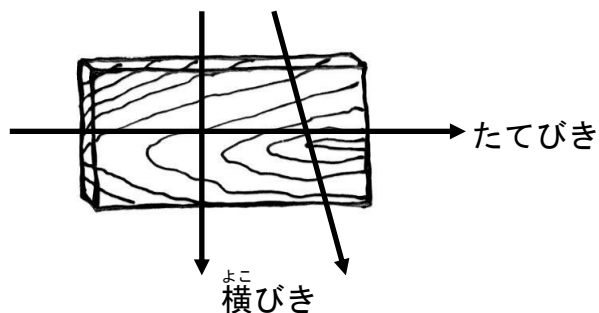


両刃のこぎりには、たてびきと横びきの刃が両側についています。

刃のちがいをたしかめましょう。



☆木目とのこぎりを引く方向



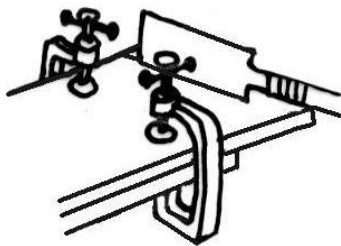
・のこぎりはひく時に切れます。おす時は軽く力を入れて、ひく時にしっかり力をいれましょう。

1. のこぎりの使い方

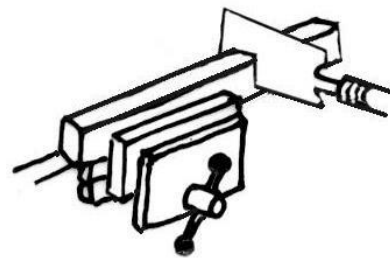
〈切る前に〉

切る材料が動かないようしっかり固定しましょう。

友だちにおさえてもらったり、万力やクランプなどの用具を
活用したりしましょう。

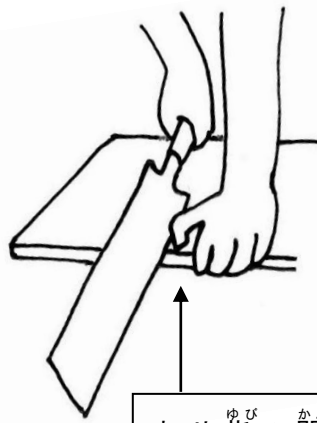


クランプをつかう

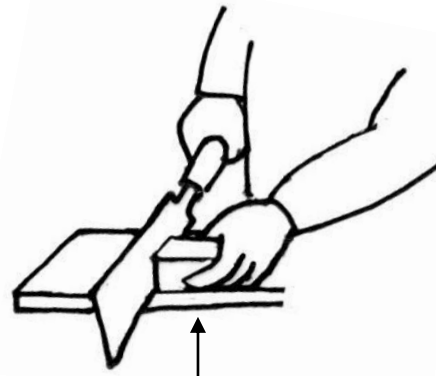


万力をつかう

- ①切り始めが大切です。親指の関節をあてたり、あて木をあてたりして
切り始めます。のこぎりの柄に近い刃のところを「切り線」に合わせて、
軽く2～3回おして、切り込み（みぞ）をつけます。
このとき、のこぎりは柄がしらをもちましょう。



おや^{ゆび}指の^{かんまつ}関節をあてる



あて木をあてる

②切り込みがいたら、のこぎりの刃を真上^{まうえ}から見ながら

曲^まがらないようにまっすぐ引いていきます。

のこぎりは、刃^{つか}あたりいっぱいに使います。

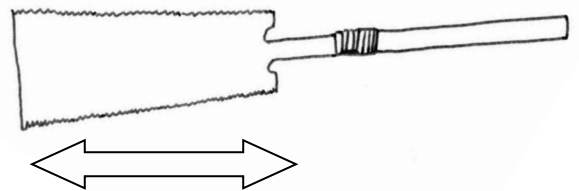
柄は中ほどをもちます。

③切り終わりは、材料がわれたりかけたりしやすくなります。

切りはなす方の材料を手でささえましょう。

のこぎりびきの角度を小さくして注意しながら切りましょう。

柄



刃^{つか}あたり



切り終わりはゆっくりと、しんちょうに切りましょう。
切りはなす方を、友だちにもってもらうのもよいでしょう。